

## 価値創造プロセス

UBEグループは、気候変動などの外部環境の変化に対し、そのリスクと機会の精査、マテリアリティの特定を経て、経営戦略を立案・実行しています。そして社会に対して製品やソリューションを提供することによって価値を創出するとともに、気候変動に対するマイナスインパクトに対しても適切に対応していくことで、持続可能な社会の実現とUBEグループの持続的な成長を目指しています。

外部環境の変化 → 2022年度 企業価値を構成する資本

2022年度 企業価値を構成する資本に与える影響 → 社会に提供する価値

### 気候変動などの地球環境問題:

- カーボンニュートラルに向けたグリーン・トランスフォーメーションが加速

### 新型コロナウイルス感染症などの世界的な流行、自然災害の増加、インフラの老朽化:

- 感染予防、拡大収束に向けた行動様式の変化
- 国土強靱化、防災・減災につながるインフラの再構築

### 新興国の人口増加、中間層拡大、都市化進展:

- 食糧、水、資源、インフラ、エネルギー不足

### ロシアのウクライナ侵攻:

- 食糧、資源、エネルギーの供給不安

### 先進国における少子高齢化、働き方の多様化、グローバル化:

- 女性活躍
- ダイバーシティ推進
- グローバル人材の育成

### デジタルトランスフォーメーション(DX):

- 新しいビジネスモデル
- 生産性向上
- 研究開発の加速

**財務資本**  
健全な財務基盤で企業価値向上をバックアップ  
自己資本 3,691億円<sup>(注)</sup>  
信用格付 R&I:A- JCR:A  
(注)2022年4月1日現在  
詳細はP14-15をご覧ください。

**製造資本**  
化学製品生産の3極体制を構築  
国内 3工場・海外 2カ国

**人的資本**  
多様な個性と価値観を尊重  
連結従業員数 7,584名<sup>(注)</sup>  
(注)2022年3月31日現在  
(セメント関連事業に係る従業員を除く)  
詳細はP46-49、50-53、65-66をご覧ください。

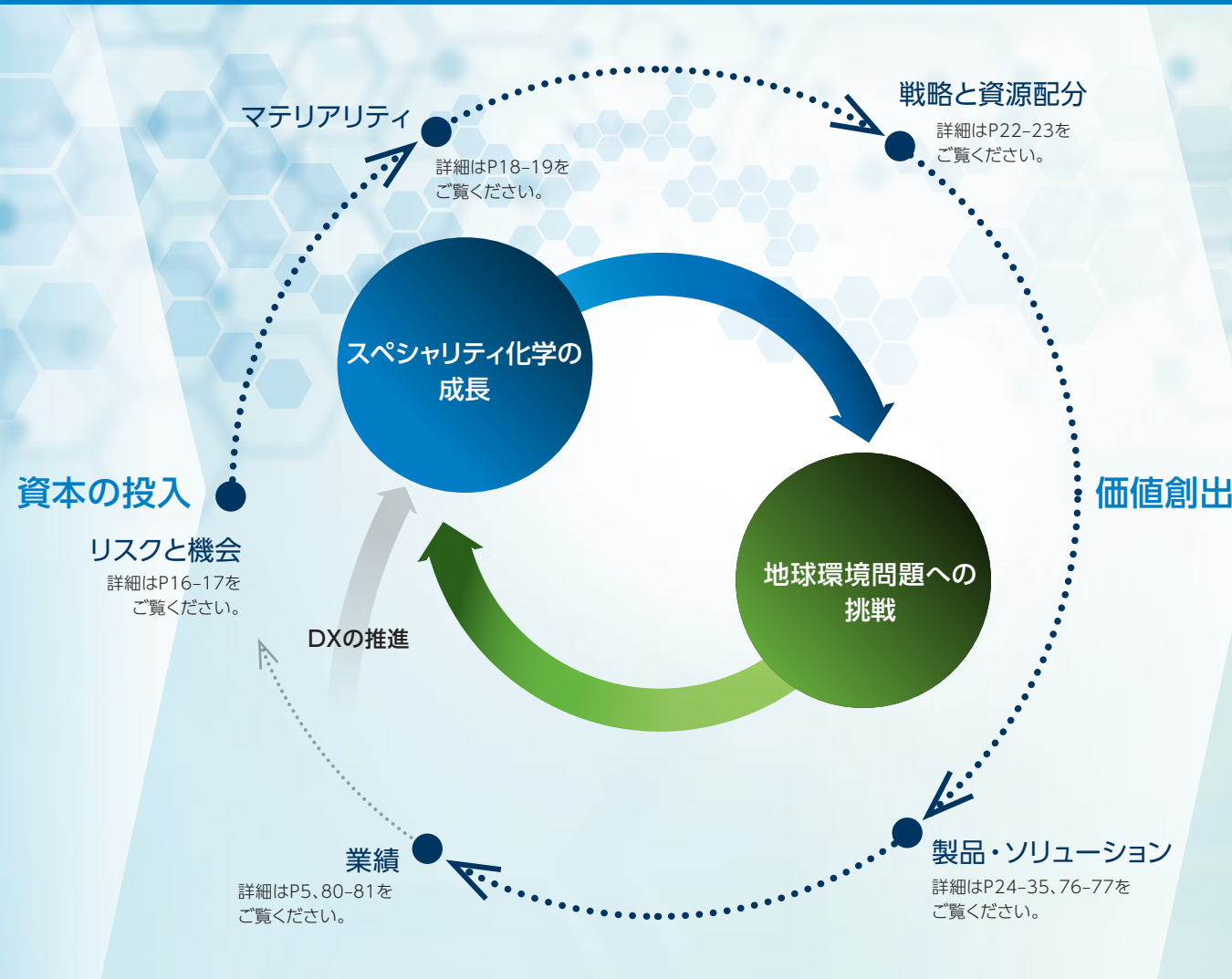
**知的資本**  
広範な技術基盤  
研究開発費 104億円  
特許保有件数 3,225件<sup>(注)</sup>  
(注)2022年4月1日現在  
詳細はP40-41をご覧ください。

**社会関係資本**  
ステークホルダーとの結びつきを重視  
アナリスト・投資家との対話  
延べ個別面談回数 約200回<sup>(注)</sup>  
(注)2022年度  
レスポンシブル・ケア(RC)  
地域対話1997年から実施  
詳細はP58、67、73をご覧ください。

**自然資本**  
環境負荷の低減  
総エネルギー投入量: 7,841千MWh  
総取水量: 370百万t  
詳細はP54-55、56-57、60-63および資料編(環境安全・品質保証)をご覧ください。

**Purpose 存在意義**  
創業以来の歴史の中で培ってきたモノづくりの技術を活かし、社会に必要とされている価値を、社会が求める安全で環境負荷の少ない方法で創り出し、人々に提供していくこと。  
これにより、人類共通の課題となった地球環境問題の解決に、また人々の生命・健康、そして未来へとつながる豊かな社会に貢献すること。

**長期ビジョン「UBE Vision 2030 Transformation」**  
地球環境と人々の健康、そして豊かな未来社会に貢献するスペシャリティ化学を中核とする企業グループ



**価値創造を支える基盤** ———— **ESG** 詳細はP46-75をご覧ください。

**営業利益** 163億円  
**親会社株主に帰属する当期純利益** (70)億円

**フリー・キャッシュ・フロー** (79)億円

**ROS** 3.3 %  
**ROE** (1.9)%  
**ROA** (0.7)%

**特許新規登録件数** 177件

**環境貢献型製品・技術の連結売上高に対する割合** 46%

**GHG排出量** 382万tCO<sub>2</sub>  
**総排水量** 345百万t  
**資源再利用、省エネルギーの実施による節約額** 32億円  
詳細は資料編(環境安全・品質保証)をご覧ください。

**新しい価値創造に向けた資本の再投入**

**社会のデジタル化への貢献:**  
有機ELディスプレイ、半導体製造向け製品の開発  
詳細はP24-26、29-31、36-39をご覧ください。

**地球環境問題への取り組み:**  
CO<sub>2</sub>・廃プラ利活用、エネルギーマネジメント、天然物原料活用などの技術開発  
詳細はP24-33、36-39、60-63、76-77をご覧ください。

**環境貢献型製品・ソリューションの提供**  
(リチウムイオン電池、エコタイヤ、自動車軽量化部材、パイオ燃料向け製品など)  
詳細はP54-55をご覧ください。

地球環境問題への取り組みについての詳細は、P54-55、56-57、60-63をご覧ください。

**ヘルスケア・食糧問題への対応:**  
健康・食品衛生・食糧生産に貢献  
(医薬品、食品包装用フィルム、肥料など)  
詳細はP34-35、60-63をご覧ください。

**サーキュラーエコノミーへの貢献:**  
資源リサイクルの追求  
CO<sub>2</sub>・廃プラ利活用技術の開発  
詳細はP36-39、60-63をご覧ください。

**地域社会への貢献:**  
雇用創出、納税、地域振興、地域環境の保全  
詳細はP58-63をご覧ください。